

日本神話：日本列島の誕生

正しい子の成し方を教えられたイザナギとイザナミは、多くの名だたる子供を生むこととなります。まず、イザナミは8つの島を生みました。それらは、淡路、四国、隠岐、九州、壱岐、対馬、佐渡、本州で、日本列島を形成しました。この8つの島は、古代日本人が支配していた土地に当たります。そのうち、本州・四国・九州は近代日本の主要4島のうちの3島で、淡路島は本州と四国の間の瀬戸内海、隠岐・壱岐・対馬・佐渡は日本海に位置しています。神話では、日本はしばしば「大八島国」と呼ばれています。これは、イザナギとイザナミが最初に作った島を指すと共に、島国全般を指しており、後者の意味では「八」は単に「多数」を表したものとなります。イザナミはその後、瀬戸内海にある島を始めとしていくつかの小さな島を生み、日本列島を完成させました。